

■ 銘柄: Energy ■

氏名: 越村 朋弘

国内需要も盛り返しの兆し



■ コメント ■

本日の東京ガソリン市場は、前日比+580円の51,670円で終了する。東京夜間の終わりから1,630円安で寄り付いた以降、ドル/円相場の上昇から、ほぼ一本調子に上値を追う展開となる。それでもユーロの急速な買戻しによるドル安を背景に1,320円上昇した夜間の立会からは、半値押しといった格好となる。

石油連盟が正午に発表した週報によると、ガソリンの週末在庫は前週比0.5%減(前年同期比8.4%減)と、4週ぶりに減少に転じている。また、推定出荷量においては前週比10.3%増(前年同期比5.3%増)となり、3週連続の増加となっている。5年平均では依然とマイナスが続いているものの、10%を超えていたマイナス幅は4.3%に縮まっており、国内におけるガソリン需要は確実に盛り返しつつあるようだ。

そして国内以上に、今夜の米エネルギー情報局(EIA)による週間石油在庫統計が気になる。需給の改善がどの程度進んでいるかに注目したい。在庫量に関して言えば、原油は170万バレルの減少見通しである。

NY同様に、切り返しの様子が伺える相対力指数から見て、もう買っていいのではないかと当方は判断する。

■ テクニカル ■

基準線(26)	47,585円
転換線(9)	51,260円
先行スパンA(26)	41,563円
先行スパンB(52)	41,180円
RSI(9)	64.81%

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。

詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている『取引の重要事項』をご確認ください。